定期健康診断結果報告書 記入例

【対象年】

報告対象の実施年を記入。「年度」で考えても「年」で考えてもど ちらでも可。

(月~月分)には一定期間まとめて報告する場合の期間を記入。 (報告 回目)には当該年において何回目の提出かを記入。対象の実施年を記入。

[(*)]

イ〜カには以下の特定業務に常時従事する労働者数を記入。 (例えば、警備業のような深夜帯に勤務があるような業種はヌに 記入。残業で22時を超える場合はブログ記事を参照。) 「計」にはイ〜カの合計を記入。

なお、以下の業務に常時従事する労働者については6ヶ月ごと に1回、定期健康診断を実施する必要があります。

特定業務一覧(労働安全衛生規則第13条第1項第2号)

- イ 高熱・暑熱業務
- ロ 低温·寒冷業務
- ハ 有害放射線業務
- 二 粉塵業務
- ホ 異常気圧業務
- 小 共市 以上:
- ト 重量物取扱業務
- チ 騒音業務
- リ 坑内業務
- ヌ 深夜業を含む業務
- ル 水銀、砒素、黄りん、弗化水素酸、塩酸、硝酸、硫酸、 青酸、か性アルカリ、石炭酸その他これらに準ずる 有害物を取り扱う業務
- ヲ 鉛、水銀、クロム、砒素、黄りん、弗化水素、塩素、塩酸、 硝酸、亜硫酸、硫酸、一酸化炭素、二硫化炭素、青酸、 ペンゼン、アニリンその他これらに準ずる業務
- ワ 病原体汚染業務
- カ その他厚生労働大臣が定める業務

【健康診断項目】

項目ごとの健康診断「実施者数」と「有所見者数」を記入。 (弊社では「有所見者」とは、「要経過観察」を含む、それより判 定が悪い場合としています。法的な定義や区分はありません。) 実施の医療機関で算出してくれる場合があるので、まずは実施 機関に確認。

【所見のあった者の人数】

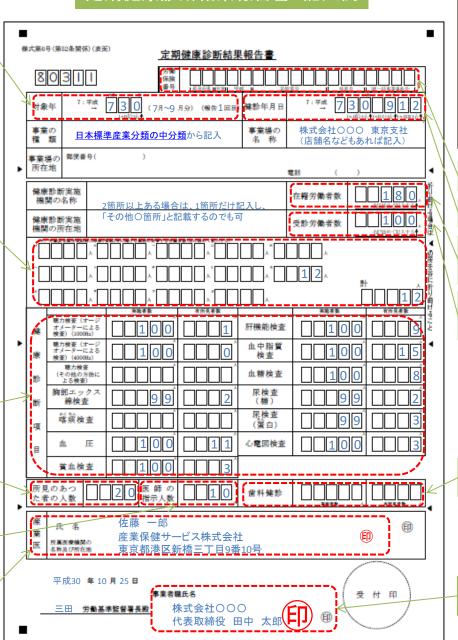
健康診断項目の「有所見者数」に該当した人数を記入。1人が 複数の項目において「有所見者」となっている場合、各項目の 「有所見者数」の合計とは一致しない。

【医師の指示人数】

「所見のあった者の人数」のうち、「要精密検査」「要治療」など 医師の指示があった者の人数を記入。 「所見のあった者の人数」で数えた人と重なる人がいます。

【産業医】

選任している産業医の氏名・所属先とその所在地を記入し、押印をもらう。産業医本人の署名であれば、押印はなくても有効。



- ※用紙の印刷に際しては、以下の注意点が 挙げられています。
- ・用紙は、白色度80%以上のものであること
- Adobe Readerでpdf化したものを印刷すること
- ・拡大や縮小をして印刷しないこと
- ・印刷した用紙を、更にコピーして使用しないこと
- ※見本のため、青字で記入しています。実際に記入する際は必ず<u>黒のボールペン</u>でご記入ください。
- ※実施医療機関が健康診断結果報告書の 見本を作成してくれる場合があります。
- ※2部提出のため、すべて記入後、最下段に 押印したらコピーを取りましょう。

【労働保険番号】

事業場の労働保険番号を記入。

【健診年月日】

期間内における最後の健診受診者の受診日を記入。

【在籍労働者数】

検査実施年月の末日現在の常時使用する労働者数を記入。 (派遣社員は含めない。パート・アルバイトの人数はブログ 記事を参照)

【受診労働者数】

健診年月日現在の受診労働者数を記入。報告書を何回かに分けて提出する場合は、在籍労働者数と受診労働者数に 差異が出ることがある。

【歯科検診】

労働安全衛生規則第48条関係の歯科検診を実施した場合は、その実施者・有所見者数を記入。

【事業者職氏名】

社名、代表者の職・氏名の記入と代表者印の押印。代表者の署名であれば、押印はなくても有効。